

令和7年（2025年）の^{そうふがん}嬬婦岩の火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

気象衛星ひまわりによる観測では噴火は認められませんでした。

海上保安庁が12月17日に実施した上空からの観測では、嬬婦岩周辺でごく少量の変色水が認められました。

○ 噴火警報・予報の状況、2025年の発表履歴

2025年中変更なし	噴火予報（活火山であることに留意）
------------	-------------------

○ 活動概況

東京の南約660kmに位置する活火山である嬬婦岩（図2）では今期間、気象衛星ひまわりによる観測で噴火は認められませんでした。12月17日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、嬬婦岩の東端でごく少量の乳白色の変色水が認められました。



図1 嬬婦岩 12月17日の状況

- ・12月17日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、嬬婦岩の東端でごく少量の乳白色の変色水が認められました。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は海上保安庁のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

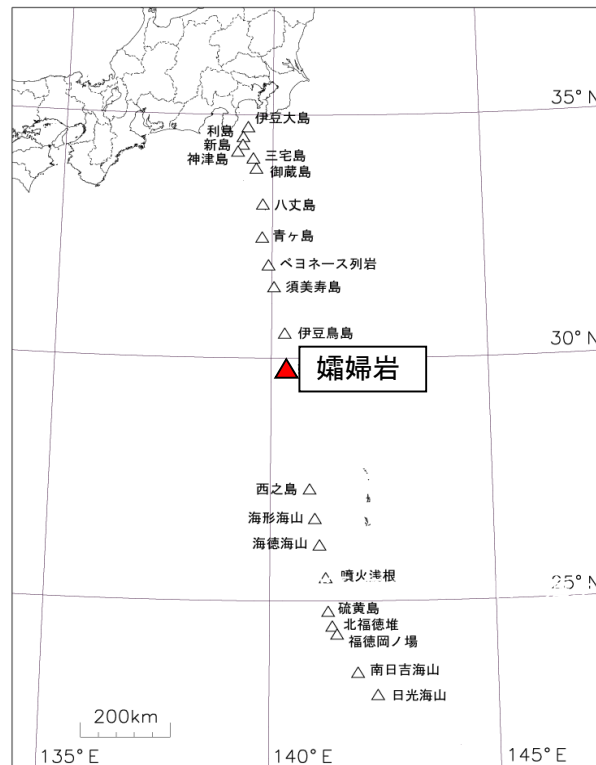


図 2 伊豆・小笠原諸島の活火山分布及び嬬婦岩の位置図

嬬婦岩は、東京の南約 660 km、伊豆鳥島の南方 76km に位置します。

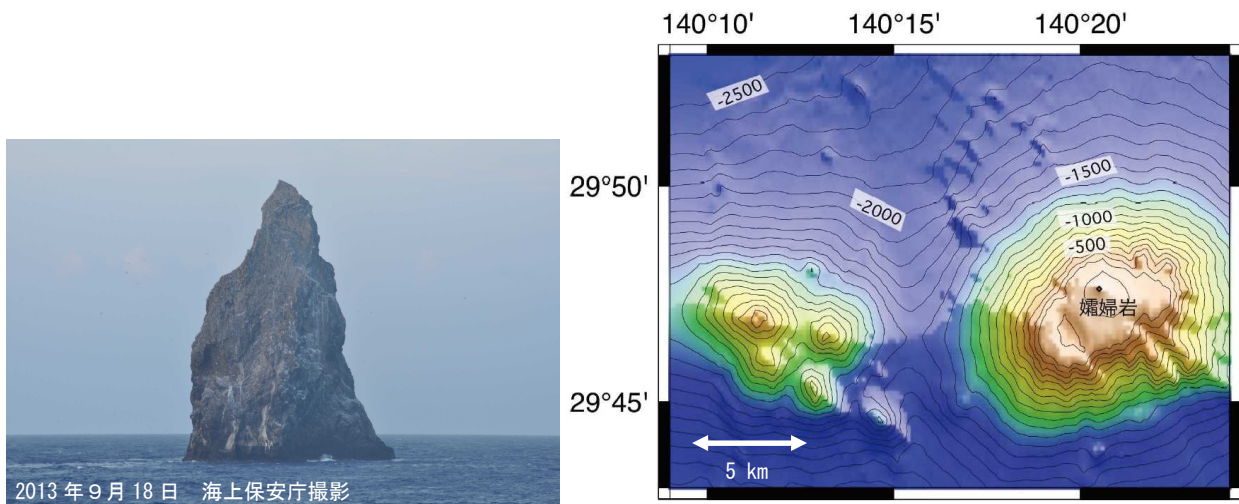


図 3 嬬婦岩（左図）及び付近の海底地形図（右図）

嬬婦岩は標高 99m の孤立突岩であり、位置は北緯 29 度 48 分、東経 140 度 21 分です。また、嬬婦岩を頂部とする地塊は東西約 10km 離れた比高 1,500～2,000m の 2 つの山体から構成されています。

（写真、海底地形図は海上保安庁海洋情報部海域火山データベース（<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/kaiikiDB/kaiyo17-2.htm>）を引用し、加筆しています。また、嬬婦岩の標高及び位置情報は気象庁（編）日本活火山総覧（第 4 版）から引用しています。）



図4 嬬婦岩 1975 年以降の活動状況

シンボルがあるタイミングで観測が行われています。●は変色水が認められた観測、●は変色水域等特異事象が認められなかった観測を示します。

(海上保安庁海洋情報部海域火山データベース (<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/kaiikiDB/kaiyo17-2.htm>) に基づき作成しています。)

- ・有史以降、噴火発生記録はありません。
- ・1975 年に嬬婦岩の北方約 500m に緑色の変色水が認められています。